

## 第3回置賜定住自立圏共生ビジョン懇談会 委員からの意見まとめ

項目	意見	対応
(1) 生活機能の強化 ② 福祉 ア 子育て支援の充実	子育て支援・教育面から考えると、置賜には冬の屋内の遊び場が少ない。福島には遊び場があり米沢から連れて行っている。魅力あるまちづくりが定住・移住につながる。分校・休校等の体育館を利用してお金をかけない子育て支援ができないか。	情報発信をしながら圏域にあるものを有効に活用していく取組をしていきます。
	長井市の（仮称）子育て世代活動支援センターはどういう施設か。	子育て世代の市民の皆様から要望の多い多機能型図書館と、子どもの遊び場や相談場所などが一体となった公共複合施設を計画しています。
イ 福祉・健康事業の充実	「2 自殺対策における普及啓発活動の推進」は大幅に前回と変わった。普及啓発するための講演会も大切だが、1対1の関係で自殺を思いとどまらせる役割を持つゲートキーパーの養成が必要ではないか。	各市町においても自殺対策計画に基づくゲートキーパーの研修は行われるものと想定していますが、置賜地域には専門家が少ないので、広域でも自殺対策の専門家を招いてゲートキーパーの養成も含めた研修会を開催したいと考えています。
③ 教育 ア 教育環境・生涯学習の充実	地元の高等教育機関に進学させる取組を行政も一緒になって考えていく必要があるのではないか。	各関係機関と協議を行い、広域の取組みとしてどのようなことができるか、検討していきます。
④ 産業振興 ア 農畜産物等の振興 2 有害鳥獣対策の広域的対応の検討	狩猟免許の取得は少しずつ増えているが、猟友会では勤めている方が多く、実際対応するときに人手が足りず高齢の方が対応せざるを得ない。育成とともに実地訓練が必要ではないか。	猟友会の高齢化等については、直接意見を伺っており、課題として認識しています。米沢市としては訓練するための弾代を助成しており、高齢の方が対応せざるを得ない状況に対しては、県が進める新たな捕獲体制の取組みや、猟友会だけでなく地域からも実施隊ということで人を出してもらい地域ぐるみで鳥獣被害を防止する取組をしています。今後、ワーキンググループ等で検討し、実地訓練も含めて必要な事業を検討していきます。
イ 米沢牛の振興	と畜頭数の目標値が3,450頭となっているが、実際に携わっている方に聞くと5,000頭は必要だろうという話だ。GIを取って海外戦略も考えると、この目標値でいいのか。	現在の目標値は、米沢市営と畜場でと畜する牛の頭数ですが、このほかに、東京市場に年間500頭程度出荷しています。畜産農家の高齢化や施設の老朽化等の課題に対応しながらと畜・出荷頭数を増やしていきたいと考えています。

項目	意見	対応
1 米沢牛生産基盤強化事業	今回の共生ビジョン（案）で小国町の畜舎整備が削られたのはなぜか。また、市町が畜舎を整備し管理運営するということだが、農業法人等が畜舎を整備した場合は対象になるのか。	小国町で畜舎整備の方法等を調整中のため、今回の共生ビジョン（案）には載せていません。また、農業法人も対象となります。
ウ 商工業の活性化と雇用促進	長井管内の目標値が100%となっているが実現可能な数値か。	ハローワーク長井管内の市町で調整し、成果指標を修正します。
⑤ 環境 ア 環境の保全	具体的な取組の中に「エネルギー」がなかったが、エネルギーの確保は大丈夫か。  「取組の内容」と「具体的な事業項目」にギャップがある。地域の環境を保全するとはどういうことなのかを反映させるべきではないか。具体的な事業項目がごみの減量化と廃棄物処理に集約されているが、もっと違う取組をしないと、これからの自然環境や社会環境の変化に追いついていけないのではないか。もう少し攻めの姿勢で自然エネルギーを活用するということが必要ではないか。	エネルギーに関しては大事な視点であるため、環境の部分に事業項目を盛り込みます。
⑦ 消防・防災体制の強化 1 消防機能の強化	自主防災組織の強化や住民のやるべきことも必要だと思うが、地域に応じた防災の方法なども必要ではないか。	広域での自主防災組織や地域住民の方の消防に対する協力体制などを推進するため、今後のワーキンググループで協議していきます。
(2) 結びつきやネットワークの強化 ① 交通 ア 交通ネットワークの維持・整備	現在の新幹線は米沢・高島・赤湯に停車している。フル規格新幹線整備に向けて運動しているが、米沢には停車し、高島・赤湯には停車しないという話だ。飯豊・長井・白鷹・小国の方は赤湯駅を使っており、フル規格新幹線でも高島・赤湯に停車するように国や県に働きかけないといけない。現在はどのような運動をしているのか。	フル規格新幹線では、福島と山形は停車しますが、米沢に停車するかは決まっていません。新幹線の一番の課題は米沢～福島間のトンネルで、たびたび止まるため多くの方に御迷惑をおかけしています。県ではフル規格新幹線が先にあって新しいトンネルが整備されるということで運動していますが、置賜では新幹線の整備だけでなく、トンネル整備という名前も付けて同盟会を立ち上げる予定となっています。まずはトンネル整備を第一に考えていきたいという趣旨です。

項目	意見	対応
② 移住・定住・交流 ア 移住・定住・交流等の推進	地域の魅力づくり、魅力の発見、魅力の活用、魅力の連携などをしていかないと移住・定住・交流を促すことはできないのではないか。また、住民の出番づくりが大事であり、住民との協働で取り組まないと実現が難しいのではないかと。その辺りが考慮されていないのはどうしてか。	共生ビジョンには、取り組む事業や市町間の役割分担を中心に記載していますので、住民との協働で取り組む内容は含まれておりませんでした。住民との協働に関しては、移住・定住・交流の分野に限らず、全体として必要な視点ですので、「圏域の将来像」の中に文言を追加します。
(3) 圏域マネジメント能力の強化 ① 職員等の交流	研修について、課題をしっかりと捉えた上で課題に沿った研修場所・方法を詰めて実施してもらいたい。例えば「若い年代のプロジェクトチームを作り、課題を見つけ勉強し、それを事業に生かす」ということができれば、置賜全域の一体感が出てくるのではないかと。	「地方創生に向けた人材育成事業」の中で、若手を中心に広域的な地域づくりの中核を担う人材の育成を進めていきます。
成果指標一覧	成果指標の出典があるといい。  「(2)成果指標一覧」で、これはビジョンの評価、PDCAのチェックの部分だと思う。指標ということで数値化できるものに限ったのかもしれないが、事業のチェックであればこれに限っていいのかどうか。例えば「こういう取組をしたい」というのであれば「その取組ができたかどうか」が評価になるので、成果指標のチェックの部分は考慮していいのではないかと。具体的取組の中に事業ごとに「チェック部分」を入れられないかと。	出典を記載しました。  成果指標は、数値化できるものに限って記載しており、成果指標が定められていない取組に関しては、毎年度ビジョン懇談会に進捗状況をお示しし、「チェック」していただきたいと考えており、その旨をビジョンにも記載します。
その他委員からの意見	共生ビジョン(案)はよく整理されている。網羅はされなくても定住自立圏の財政措置に関わる取組ということであれば納得できる。今回の財政措置はあまり大きくないが、それをどう有効に使うかということと言うと、新規の事業も大事だが、動き出しているところにさらに活力を加えるという考え方も必要だと思う。運動の分野で、2つの力を同時に加えるより、1つの力で動かした後にもう1つの力を加えたほうが大きなエネルギーを得られるパラメーターレーシングという考えがある。政策も同じで、一定の額で動かしているところに、もう1つ加えることで加速度が増すような政策を選び効率的に活用してもらいたい。	中心市として責任をもってやらなくてはならないものとして、まずは米沢牛と観光には力を入れ、今後は福祉の分野、成年後見センターなど、そういった重点的に力を入れて取り組むものの財源に交付税を活かしていきたいと考えています。今後、新しい事業が展開されればそちらに移っていくということになりますが、当面は重点的に力を入れて取り組むものに活用していきます。